

不正操作の防止

本機前面パネルのボタンをロックして、操作できないようにします。

ロック

- 1 前面パネルの十字ボタン（上／下）を押します。
[キーロック モード]と表示されるまで押します。

キーロック モード
[セット]

- 2 [セット] ボタンを押します。
[キーロック カンリョウ]と表示され、キーロックが設定されます。

キーロック カンリョウ

解除

- 1 前面パネルの十字ボタン（上／下）を押します。
[キーロック モード]と表示されるまで押します。
- 2 [セット] ボタンを押します。
[ロックチュウ]と表示され、パスワード入力画面が表示されます。
- 3 パスワード（初期設定値：12345）を入力します。
 - 十字ボタン（左／右）でカーソルを移動し、十字ボタン（上／下）で0～9の数値を入力します。
 - パスワードは設定メニューで設定できます。詳しくは、取扱説明書 設定編（PDF ファイル）をお読みください。
- 4 [セット] ボタンを押します。
キーロックが解除されます。

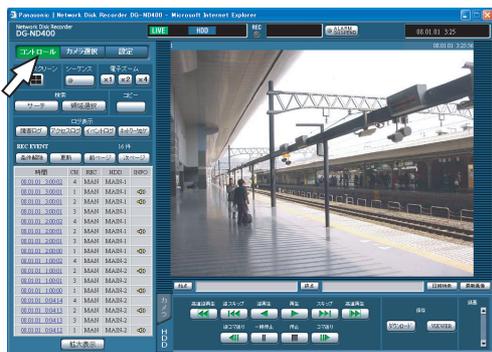
履歴の確認

障害発生履歴や本機へのアクセス履歴、イベント発生履歴（発生日時、イベント内容）、ネットワークの障害履歴を確認できます。

障害発生履歴

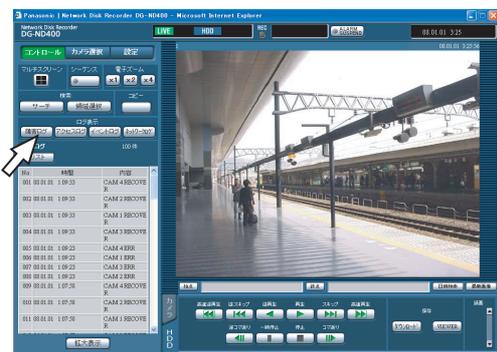
本機の障害発生履歴を一覧で表示します。

1 [コントロール] ボタンをクリックします。



2 [ログ表示] ボックスの [障害ログ] ボタンをクリックします。

録画イベントリスト画面に障害発生履歴（障害ログ画面）が一覧表示されます。障害ログについては、52ページをお読みください。



3 [リスト] ボタンをクリックします。

障害ログ画面が閉じます。

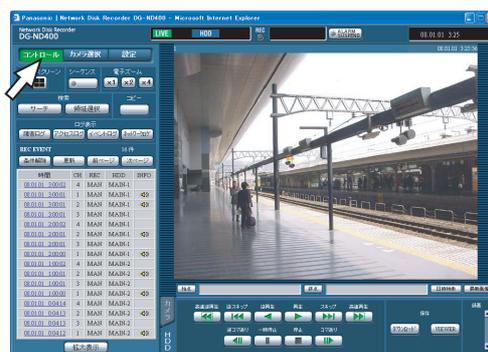
メモ:

- 障害ログは最大 100 件まで登録されます。100 件を超えると、最も古いログから順に上書きされます。
- 最新ログと同じ障害が発生したときは、最新ログの日時のみ更新されます。
- ログの表示更新中はライブ画の更新が正常にできない場合があります。

アクセス履歴

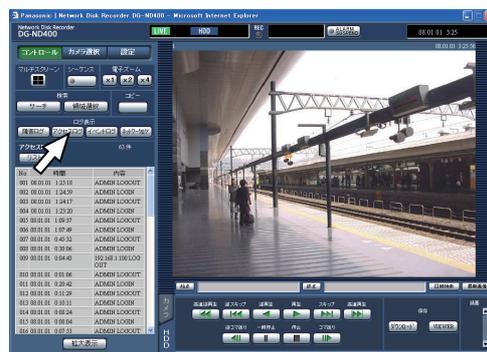
本機にログイン/ログアウトした日時と、ユーザー名または IP アドレスを表示します。

1 [コントロール] ボタンをクリックします。



2 [ログ表示] ボックスの [アクセスログ] ボタンをクリックします。

録画イベントリスト画面にアクセス履歴（アクセスログ画面）が一覧表示されます。



アクセスログについて

- **LOGIN/ : ユーザーまたはホストがログイン/ログアウト
- **LOGOUT
- CONFIG LOGIN/ : コンフィグ設定へログイン/ログアウト
- CONFIG LOGOUT
- USE BUTTON : [USE] ボタンを 2 秒以上押し
- PUSHED : とき
- **にはユーザー名または IP アドレスが表示されます。

3 [リスト] ボタンをクリックします。

アクセスログ画面が閉じます。

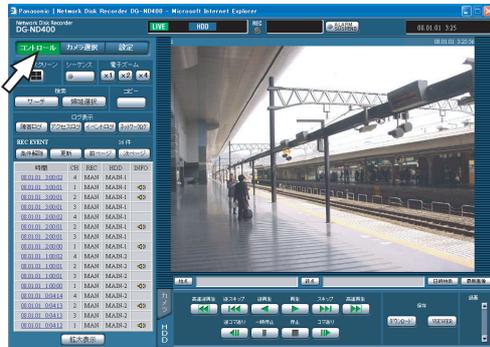
メモ:

- アクセスログは最大 100 件まで登録されます。100 件を超えると、最も古いログから順に上書きされます。
- ログの表示更新中はライブ画の更新が正常にできない場合があります。

イベント発生履歴

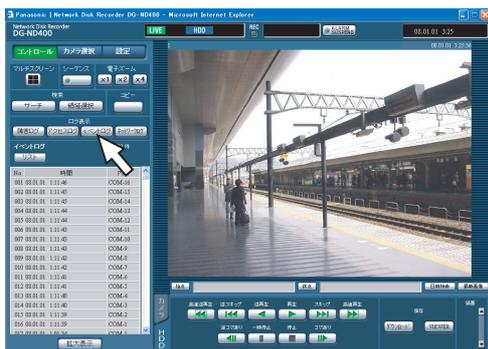
イベント発生履歴（発生日時、イベント内容）を一覧で表示します。各イベントの詳細については、33ページをお読みください。

1 [コントロール] ボタンをクリックします。



2 [ログ表示] ボックスの [イベントログ] ボタンをクリックします。

録画イベントリスト画面にイベント発生の履歴（イベントログ画面）が一覧表示されます。



イベントログについて

COM	: コマンドアラーム
EMR	: 緊急録画
TRM	: 端子アラーム
CAM	: サイトアラーム
SCD	: シーン変更アラーム
EXT START	: 外部録画開始
EXT STOP	: 外部録画停止

3 [リスト] ボタンをクリックします。

イベントログ画面が閉じます。

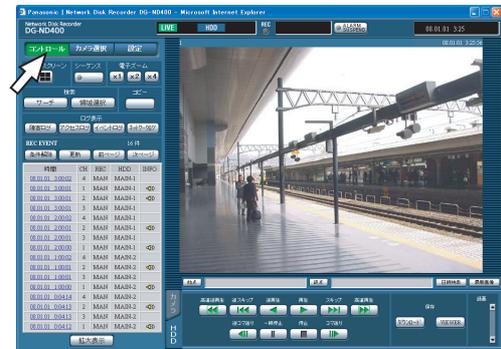
メモ:

- イベントログは最大 750 件まで登録されます。750 件を超えると、最も古いログから順に上書きされます。
- ログの表示更新中はライブ画の更新が正常にできない場合があります。

ネットワークの障害履歴

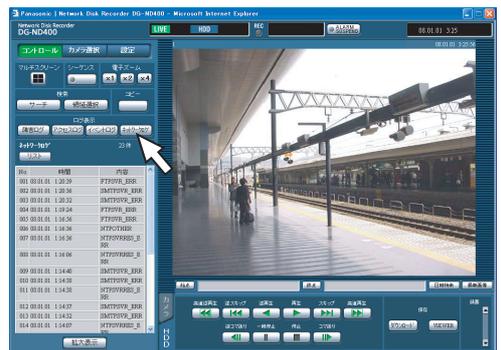
ネットワークの障害発生の履歴（発生日時、障害内容）を一覧で表示します。

1 [コントロール] ボタンをクリックします。



2 [ログ表示] ボックスの [ネットワークログ] ボタンをクリックします。

録画イベントリスト画面にネットワークの障害発生の履歴（ネットワークログ画面）が一覧表示されます。ネットワークの障害ログについては、52ページをお読みください。



3 [リスト] ボタンをクリックします。

ネットワークログ画面が閉じます。

メモ:

- ネットワークログは最大 1 000 件まで登録されます。1 000 件を超えると、最も古いログから順に上書きされます。
- 最新のネットワークログと同じ障害が発生したときは、最新ログの日時のみ更新されます。
- ログの表示更新中はライブ画の更新が正常にできない場合があります。

録画画像のコピー

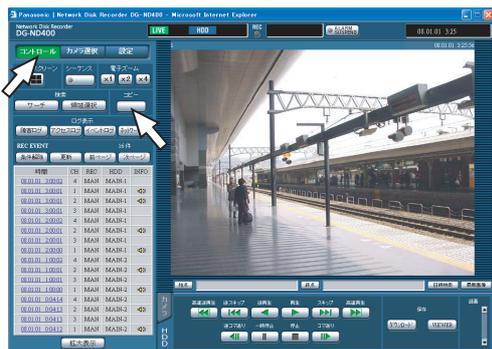
録画された画像を HDD のコピー領域にコピーします。

大切なデータは HDD の故障や突然の事故発生に備えて、バックアップを取ることをおすすめします。

コピー

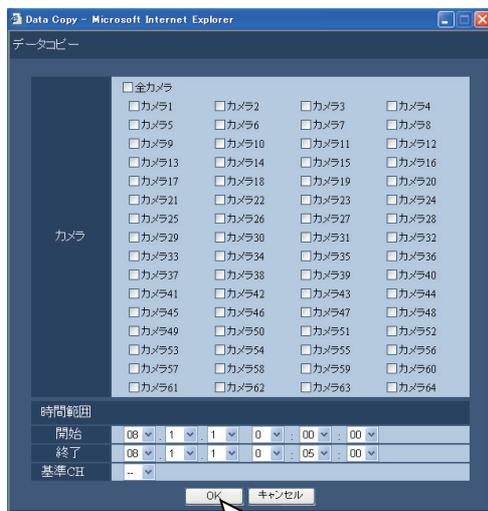
ライブ画像の表示中や録画画像の再生一時停止中に、通常録画領域／イベント録画領域に録画された画像をコピー領域にコピーします。

1 [コントロール] ボタンをクリックします。



2 [コピー] ボタンをクリックします。

[データコピー] 画面が表示されます。



3 コピーしたいカメラchをクリックします。

カメラ ch は複数選択できます。

4 [V] ボタンをクリックして、コピーの開始日時／終了日時を選択します。

5 どのカメラchの日時を基準にするのかを設定します。

国をまたいでカメラを設置している場合、どのカメラch の日時を基準にするかを設定します。本機とカメラが同じタイムゾーンに設置されている場合は、[-] に設定します。

6 [OK] ボタンをクリックします。

ステータス表示部に [COPY] が表示されコピーを開始します。

重要:

- コピーは画像、音声の順に行われます。
- コピーの設定時間によっては、すべての画像と音声がかopyされない場合があります。

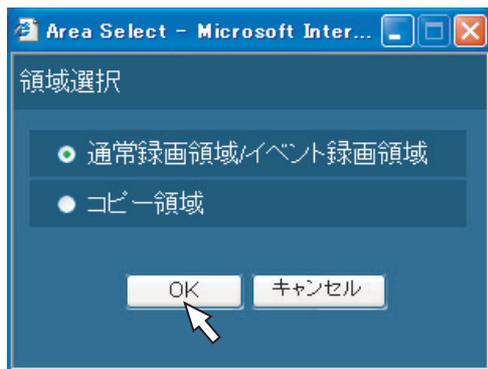
メモ:

- 以下の場合、動作中のコピーを中止します。
 - ・ コピー中に別のユーザーが設定を変更したとき
 - ・ PCのウェブブラウザからコピーを始めたユーザーがウェブブラウザを閉じたとき(ウェブブラウザを閉じてからコピー中止までは 90 秒程度かかります)
- 以下の場合はコピーができません。[コピー] ボタンをクリックするとポップアップ画面が表示されます。
 - ・ 別のユーザーがコピー中のとき
 - ・ コピー領域を領域選択しているとき
- コピー中に、コピーを始めたユーザーが再度 [コピー] ボタンをクリックすると、コピーキャンセルの画面が表示され、コピーを中断できます。
- コピー画像がMPEG-4画像の場合、指定した開始日時の数秒後からコピーが開始されることがあります。
- 選択したカメラchや時間範囲内のSDメモリーデータもコピー領域にコピーされます。

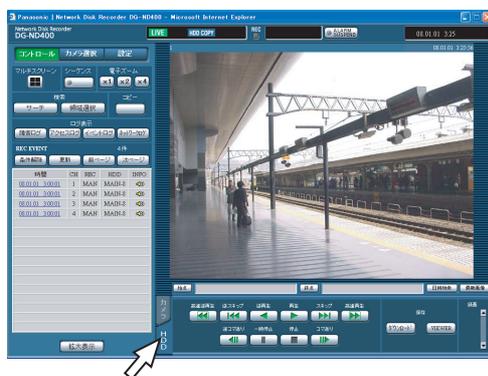
コピー画像の再生

コピーした画像を再生します。

- 1 **【コントロール】 ボタンをクリックします。**
- 2 **【検索】 ボックスの【領域選択】 ボタンをクリックします。**
【領域選択】 画面が表示されます。



- 3 **【コピー領域】 にチェックを入れます。**
- 4 **【OK】 ボタンをクリックします。**
録画イベントリストにコピーされた画像の履歴（発生日時、内容）が一覧表示されます。
- 5 **【HDD】 タブをクリックします。**



- 6 **再生したい履歴の時間をクリックします。**
ステータス表示部に「再生中 [Step 1]」が表示され、選択したディスク内の録画画像を再生します。
- 7 **【停止】 ボタンをクリックします。**
再生を停止します。
 - ステータス表示部の「再生中 [Step 1]」が消え、画像表示部にカメラのライブ画像が表示されます。
 - 再生停止後、【再生】 ボタンを押すと、前回再生を終了した日時から再生を開始します。

画像の消去

手動消去

本機のHDDの通常録画領域、イベント録画領域、コピー領域に記録された画像、音声を手動で消去します。日付を設定すると、設定した日付の前日までに記録された画像を消去します。

重要:

- 消去した画像、音声は復元できません。ご注意ください。
- 日数を設定しその日数が経過すると、自動的にHDD内の画像を消去するように設定できます（ディスク自動消去）。詳しくは、システムの管理者にご確認ください。
- 設定メニューの[端末設定]を[Stop]に設定している場合、消去しても残容量は増えません。

1 [設定] ボタンをクリックし、[メンテナンス] ボタンをクリックします。



2 サブメニューの [ディスク] をクリックします。「ディスク設定」画面が表示されます。



3 [通常録画領域手動消去]、[イベント録画領域手動消去]、[コピー領域手動消去] から消去する領域を選択し、日付を入力します。

選択した日付の前日までに記録された画像、音声が消去対象になります。

4 [消去実行] ボタンをクリックします。確認画面が表示されます。



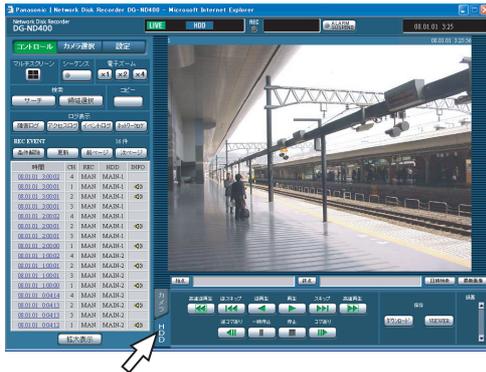
5 [OK] ボタンをクリックします。データが消去されます。

画像の取得

再生画像のダウンロード

再生している画像のダウンロード開始と終了の日時を設定すると、PCに画像をダウンロードできます。ダウンロードした画像は、画像データファイル（ファイル名.n3r）、音声データファイル（ファイル名.n3a）として保存されます。ダウンロードした画像の再生については、44ページをお読みください。

1 [HDD] タブをクリックします。



2 再生中にダウンロードする画像の再生日時を「始点」ボックスに入力します。

または、再生中にダウンロードを開始したい再生位置で「始点」ボタンをクリックします。

3 再生中にダウンロードを終了する画像の再生日時を「終点」ボックスに入力します。

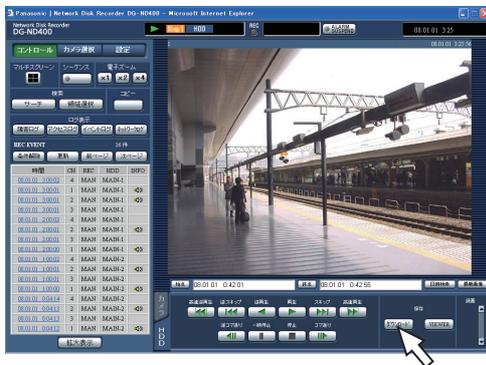
または、再生中にダウンロードを終了したい再生位置で「終点」ボタンをクリックします。

- 一度にダウンロードできる時間は最大 20 分です。

4 [ダウンロード] ボタンをクリックします。

ダウンロード設定画面が表示されます。

- 設定した日時が「始点」／「終点」ボックスに表示されます。



メモ:

- ダウンロードする画像がMPEG-4画像の場合、指定した始点日時の数秒前から終点日時の数秒後までダウンロードされる場合があります。

5 ダウンロードするデータの音声のあり／なしと、改ざん検出するためのデータを付けるか付けないかを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

ファイルのダウンロード画面が表示されます。

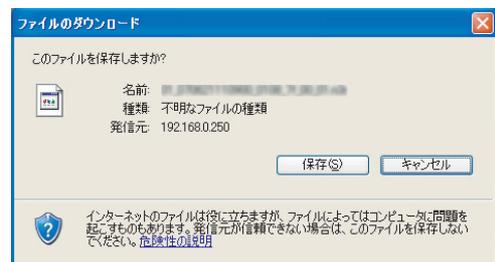
- 音声や改ざん検出のためのデータを付けると、ダウンロード時間が長くなります。



6 [保存] ボタンをクリックします。

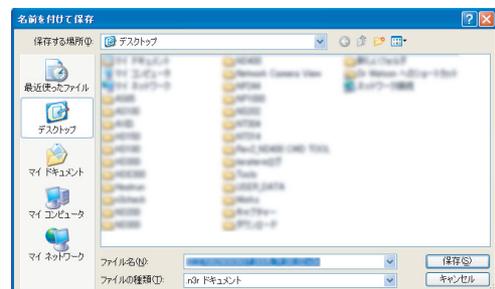
ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

- 手順 5 で [音声あり] にチェックを入れると、画像データのダウンロード後に、再度ダウンロード画面が表示されます。



7 任意の場所に、フォルダーを新規に作成し、[保存] ボタンをクリックします。

画像データ（ファイル名.n3r）、音声データ（ファイル名.n3a）がダウンロードされます。



重要:

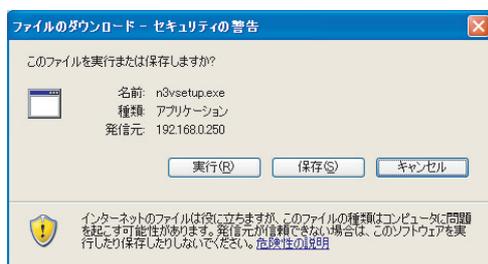
- ダウンロードするときは、PCのHDDにダウンロードするファイルサイズの2倍以上の空き容量*が必要です。
*Microsoft® Internet Explorerの制限事項です。
- ダウンロードを途中で中断すると、ダウンロードしたファイルをPCで正しく再生できません。

ダウンロードした画像の操作

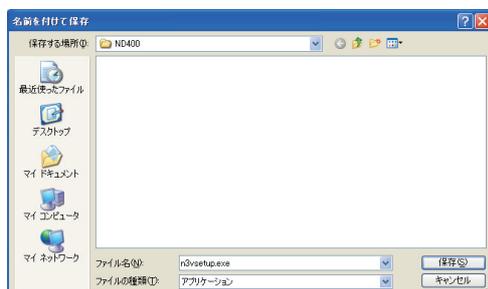
再生画像をダウンロードすると、画像データ（ファイル名.n3r）、音声データ（ファイル名.n3a）がダウンロードされます。ダウンロードしたデータは本機からダウンロード可能なビューワソフトを使って、再生、保存、印刷ができます。

ビューワソフトのダウンロード

- 1 [HDD] タブをクリックします。
- 2 [保存] ボックスの [VIEWER] ボタンをクリックします。
[ファイルのダウンロード] 画面が表示されます。



- 3 [保存] ボタンをクリックします。
ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

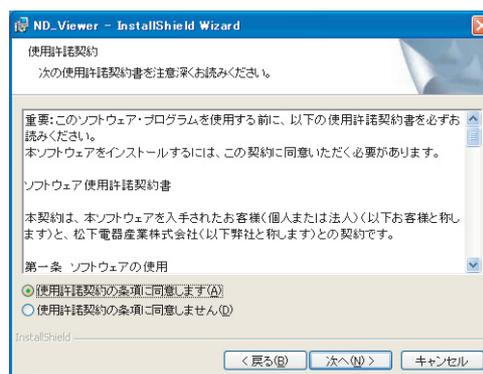


- 4 任意の場所にフォルダーを新規に作成し、[保存] ボタンをクリックします。
ビューワソフトがダウンロードされます。

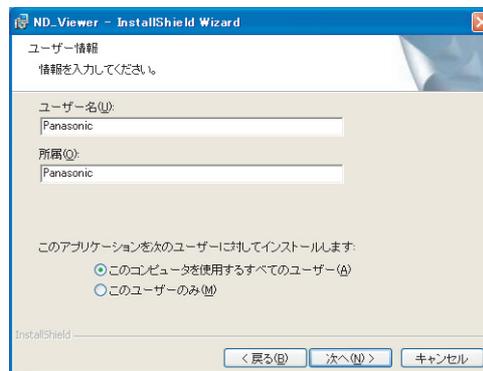
ビューワソフトのインストール

旧バージョンのビューワソフトがインストールされている場合は、アンインストールをしてから新バージョンをインストールしてください。

- 1 ダウンロードしたn3vsetup.exeファイルをダブルクリックします。
使用許諾画面が表示されます。



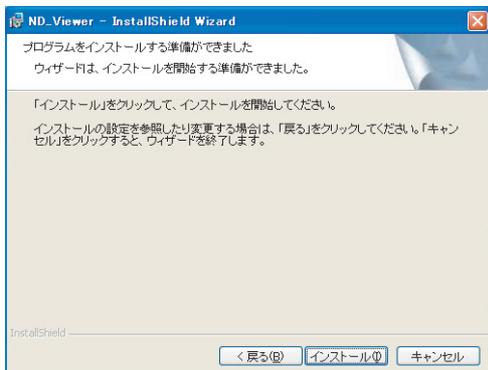
- 2 [使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
ユーザー情報の入力画面が表示されます。



- 3 ユーザー情報入力画面でユーザー情報を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。
セットアップを選択する画面が表示されます。
 - ユーザー情報は空欄のままでも問題はありません。



- 4** [このコンピュータを使用するすべてのユーザー] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
インストール開始の画面が表示されます。



- 5** [インストール] ボタンをクリックします。
インストールが終了すると、インストール完了の画面が表示されます。



- 6** [完了] ボタンをクリックします。
ビューワソフトのインストールが完了します。

ビューワソフトのアンインストール

Windows XP の場合

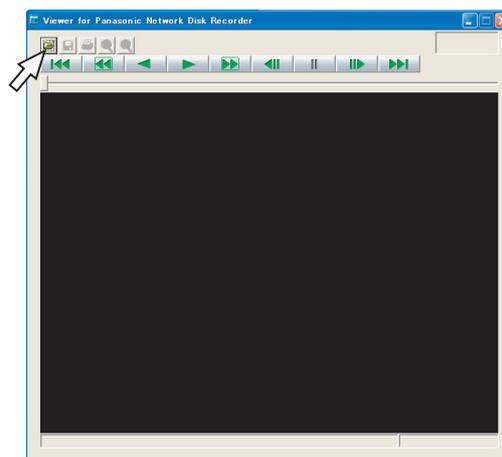
- 1 コントロールパネルの [プログラムの追加と削除] を実行します。
- 2 インストールされているプログラムから [ND_View] を選択し、[削除] ボタンをクリックします。
アンインストールパネルのプログラムが起動します。
- 3 画面の指示に従ってアンインストールします。

Windows Vista の場合

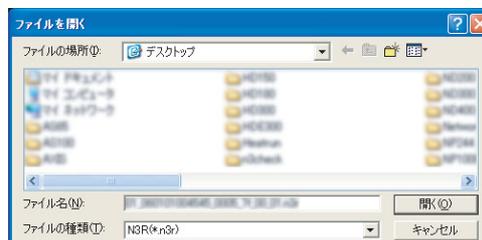
- 1 コントロールパネルの [プログラムのアンインストール] を実行します。
- 2 インストールされているプログラムから [ND_View] を選択し、右クリックします。表示された [アンインストールと変更] を選択します。
アンインストールパネルのプログラムが起動します。
- 3 画面の指示に従ってアンインストールします。

画像の再生

- 1 ビューワソフトを起動し、以下の画面を表示します。



- 2 [ファイルを開く [OPEN]] ボタンをクリックします。
ファイルを開く画面が表示されます。

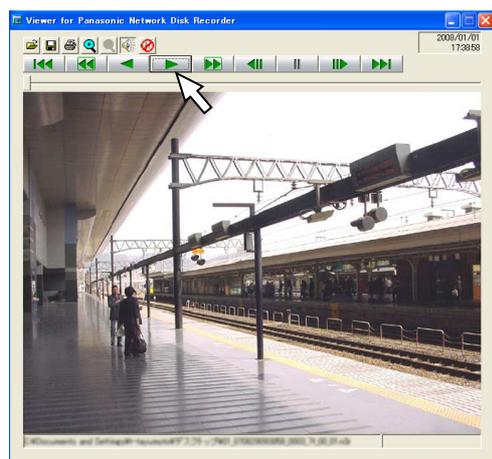


3 ダウンロードした画像データ (ファイル名.n3r) を選択します。

- キーボードの [Ctrl] キーや [Shift] キーを押しながらファイルを選択すると、複数のファイルを選択できます (最大 32 ファイル)。
- 音声を再生する場合は、画像データ (ファイル名 .n3r) と音声データ (ファイル名 .n3a) を同じフォルダーに入れてください。

4 「開く」 ボタンをクリックします。

画像が表示されます。



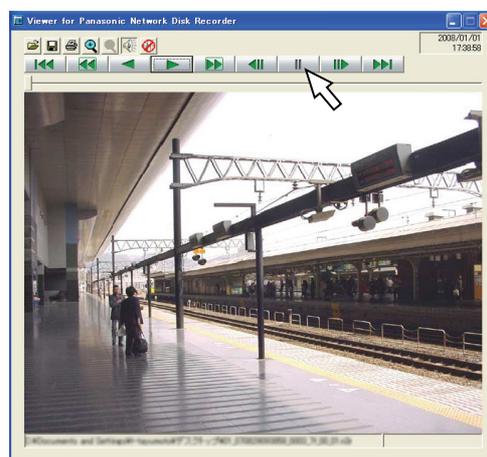
5 [再生 (PLAY)] ボタンをクリックします。

- 再生が終了すると、黒画が表示され、一時停止状態になります。
- 複数のファイルを選択している場合、[次のファイル (NEXT RECORD)] ボタン / [前のファイル (PREV RECORD)] ボタンで再生画像を切り換えられます。
- [拡大] ボタンをクリックすると、画像を 2 倍に拡大して表示できます。
- PC の性能が低い場合、滑らかに再生できないことがあります。
- [スピーカー (音声あり)] ボタンまたは、[スピーカー (音声なし)] ボタンをクリックして、音声の ON / OFF を切り換えることができます。
- ブラウザー、ビューワソフト、HDD Viewer を複数同時に起動した場合、音声の再生が正しく行われない場合があります。
正しく音声の再生を行うには、ブラウザー、ビューワソフト、HDD Viewer のいずれか 1 つのみ起動してください。
- 画像と音声の同期がずれる場合があります。

画像の保存

表示している画像を PC に jpeg ファイルとして保存します。

1 ビューワースoftwareで再生をしている画面から操作します。



2 [再生一時停止 (PAUSE)] ボタンをクリックします。

3 [保存 (SAVE)] ボタンをクリックします。

ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

4 ファイル名を入力し、ファイルの種類:JPEG (*.jpg) を選択します。



5 保存先を確認し、[保存(S)] ボタンをクリックします。

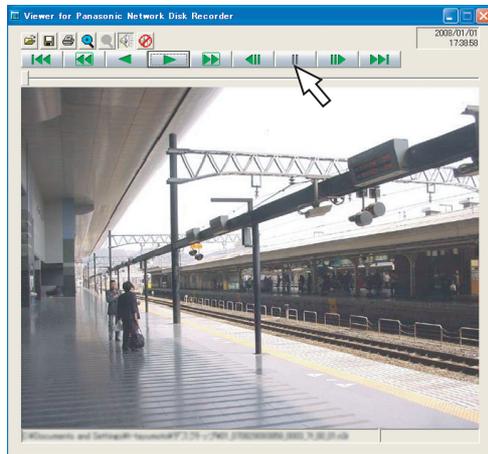
画像データが保存されます。

画像の取得

画像の印刷

ビューワソフトで再生一時停止中に、表示している画像をプリンターで印刷します。

1 ビューワソフトで画像を再生します。



2 印刷したい画像を表示しているときに【再生一時停止 (PAUSE)】ボタンをクリックします。

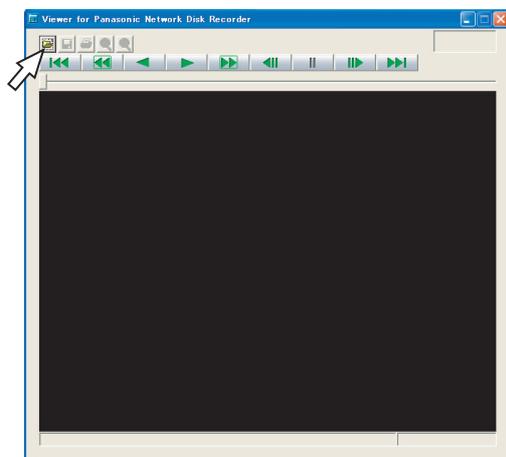
3 【印刷 (PRINT)】ボタンをクリックします。

- n3r ファイルの画像を印刷すると、再生一時停止の日時も印刷されます。

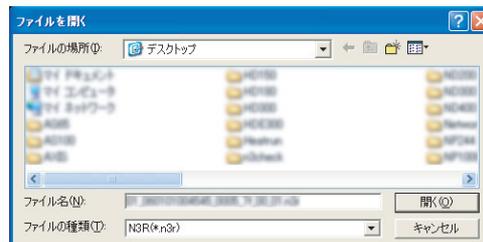
改ざん検出

ダウンロード時に、改ざん検出用のデータを付けるよう設定されているデータの改ざん検出ができます。改ざん検出用のデータを付ける操作については、42 ページ をお読みください。

1 ビューワソフトを起動し、以下の画面を表示します。



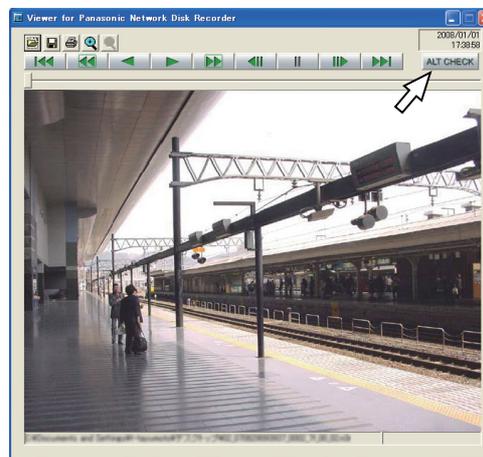
2 【ファイルを開く (OPEN)】ボタンをクリックします。 【ファイルを開く】画面が表示されます。



3 ダウンロードした画像データ (ファイル名.n3r) を選択します。

4 【開く】ボタンをクリックします。

画像が表示され、データの先頭画像が一時停止して表示されます。



5 【ALT CHECK】ボタンをクリックします。

改ざん検出を開始します。

- 【ALT CHECK】ボタンは、改ざん検出が可能な画像データを開いているときのみ表示されます。

【OK (Not Altered)】 : 改ざんが検出されませんでした。

【NG (Altered)】 : 改ざんが検出されました。

データ送信

FTP サーバーへの送信

カメラの画像を FTP サーバーに送信できます。FTP サーバーへの送信は、定期的に送信する [定期送信] と、イベント発生時のカメラ画像を FTP サーバーに送信する [アラーム送信] があります。

定期的にカメラの画像を送信する

FTP サーバーに定期的にカメラの画像を送信するには、あらかじめ設定メニューで設定します。

送信先のサーバーのディレクトリーや送信間隔、送信するカメラ ch などの設定は設定メニューの [サーバー] で設定します。また、定期送信の設定は設定メニューの [定期送信] で設定します。設定については、取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) をお読みください。

[定期送信] に設定したカメラ ch の、画像の圧縮方式が [MPEG-4] の場合、定期送信はできません。

イベント発生時にカメラの画像を送信する

イベント発生時のカメラ画像を FTP サーバーに送信するには、あらかじめ設定メニューで設定します。

送信先のサーバー名、送信するプレ録画画像・ポスト録画画像の送信時間などの設定は、設定メニューの [アラーム送信] で設定します。また、アラーム送信の設定は設定メニューの [FTP アラーム送信] で設定します。設定については、取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) をお読みください。

メール送信

イベントが発生すると、イベントの発生と日時を知らせる電子メール (アラームメール) を、登録したメールアドレスに送信して通知します。イベント発生時にアラームメールを送信するには、あらかじめ設定メニューで設定してください (取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) 参照)。

メモ:

- メール送信時、画像を 1 枚添付して送信できます。
- アラームメールの送信先は 4 件まで登録できます。

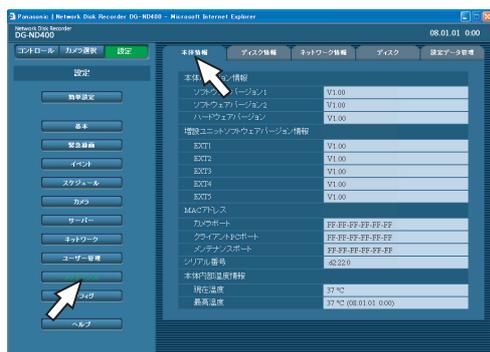
システム / ディスク情報の確認

本機のシステムに関する情報と HDD に関する情報を確認します。

システム情報

ソフトウェア、ハードウェアのバージョン情報や、MAC アドレス、シリアル番号、本体の内部温度、増設ユニットのソフトウェアのバージョン情報を表示します。

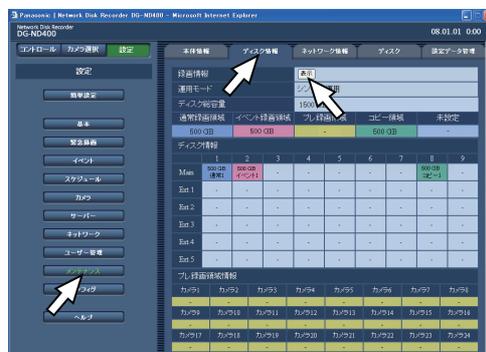
- 1 **【設定】** ボタンをクリックします。
- 2 **【メンテナンス】** ボタンをクリックし、**【本体情報】** をクリックします。



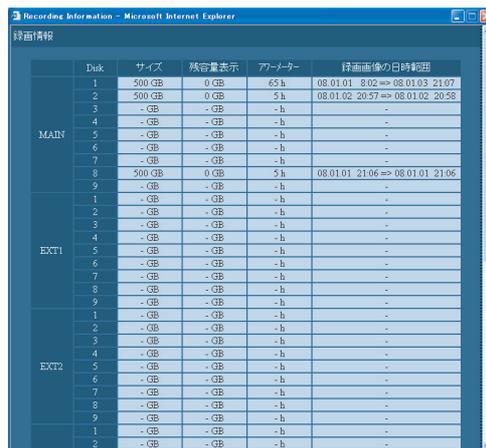
ディスク情報

本機の HDD や増設ユニット (EXT1 ~ 5) の容量と残容量を表示します。また、選択した HDD に記録されている画像の日時範囲を確認できます。本機の HDD について詳しくは、取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) をお読みください。また、HDD の警告をする稼働時間 (アワーメーター) の設定もできます。

- 1 **【設定】** ボタンをクリックします。
- 2 **【メンテナンス】** ボタンをクリックし、**【ディスク情報】** をクリックします。
ディスク情報画面が表示されます。



- 3 **【ディスク情報】** の **【表示】** ボタンをクリックします。
各 HDD の容量とアワーメーター、各 HDD に記録されている画像の日時範囲が表示されます。



メール通知について

アラームメール

アラームメールには以下のように本機内に保存されたアラーム画像へのリンクアドレスが表示されます。

アラームメールの内容

ND400 (192.168.0.250) でアラームが発生しました。
発生日時: xxxx-xx-xx xx:xx:xx GMTxx:xx (例 2008-1-1 12:00:00 GMT+09:00)
アラーム要因: アラーム内容とカメラ ch またはアラーム番号を表示 (例: COMMAND ALARM 5CH)
アラーム画像ファイル名: 電子メールに添付されているファイル名
URL:http://192.168.0.250/

障害メール

本機に障害が発生すると、あらかじめ登録したメールアドレスに以下の内容の電子メール（障害メール）を送信し、障害発生を通知します。

ND400 (192.168.0.250) 状態通知

発生日時: 2008-1-1 12:00:00 GMT+9:00

状態: 障害の内容を表示 (例: MAIN THERMAL ERROR)

表示	説明
発生日時	障害が発生した日時を表します。
状態	以下の障害の内容を表します。
	HDD 残容量警告 ^{*1} : < FULL 以外 > NORMAL-HDD CAPACITY REMAINS **% EVENT-HDD CAPACITY REMAINS **% COPY-HDD CAPACITY REMAINS **% ** は残容量 (%) : < FULL 時 > EVENT-HDD FULL COPY-HDD FULL
	停電検出 : POWER LOSS
	停電復旧 : POWER RECOVERED
	NW カメラ障害検出 : CAM** COMMUNICATION ERROR ** はカメラ ch
	NW カメラ障害復旧 : CAM** COMMUNICATION RECOVERED ** はカメラ ch
	NW カメラ障害検出 (音声) : CAM** COMMUNICATION ERROR (AUDIO) ** はカメラ ch
	NW カメラ障害復旧 (音声) : CAM** COMMUNICATION RECOVERED (AUDIO) ** はカメラ ch
	HDD スマート警告 ^{*2} : 本体: MAIN-y SMART WARNING 増設: EXTx-y SMART WARNING x はユニット番号、y はディスク番号
	HDD アワーメーター警告 : 本体: MAIN-y HOUR METER WARNING 増設: EXTx-y HOUR METER WARNING x はユニット番号、y はディスク番号
	HDD 自動リンク外し (HDD 単位) : 本体: MAIN-y LOGICALLY REMOVED 増設: EXTx-y LOGICALLY REMOVED x はユニット番号、y はディスク番号

メール通知について

表示	説明
HDD 自動リンク外し (ユニット単位)	: 本体: MAIN LOGICALLY REMOVED 増設: EXTx LOGICALLY REMOVED xはユニット番号
HDD RAID5 復旧失敗	: 本体: MAIN RAID5 RECOVERY FAILURE 増設: EXTx RAID5 RECOVERY FAILURE xはユニット番号
HDD RAID6 復旧失敗	: 本体: MAIN RAID6 RECOVERY FAILURE 増設: EXTx RAID6 RECOVERY FAILURE xはユニット番号
ファン異常	: 本体: MAIN FANy ERROR 増設: EXTx FANy ERROR xはユニット番号 yはファン番号
温度異常	: 本体: MAIN THERMAL ERROR 増設: EXTx THERMAL ERROR xはユニット番号
NW リンク外れエラー	: NETWORK LINK ERROR
RAID5 1 ダウン	: 本体: MAIN RAID5 1 DOWN 増設: EXTx RAID5 1 DOWN xはユニット番号
RAID5 2 ダウン	: 本体: MAIN RAID5 2 DOWN 増設: EXTx RAID5 2 DOWN xはユニット番号
RAID6 1 ダウン	: 本体: MAIN RAID6 1 DOWN 増設: EXTx RAID6 1 DOWN xはユニット番号
RAID6 2 ダウン	: 本体: MAIN RAID6 2 DOWN 増設: EXTx RAID6 2 DOWN xはユニット番号
RAID6 3 ダウン	: 本体: MAIN RAID6 3 DOWN 増設: EXTx RAID6 3 DOWN xはユニット番号
カメラ SD メモリーカードエラー	: CAM xx SD ERR xxはカメラ番号
カメラ SD メモリー書き込み開始要求失敗	: CAM xx SD START ERR xxはカメラ番号
カメラ SD メモリー書き込み終了要求失敗	: CAM xx SD END ERR xxはカメラ番号
カメラ SD リスト要求失敗	: CAM xx GET LIST ERR xxはカメラ番号
カメラ SD 画像取得失敗	: CAM xx GET IMG ERR xxはカメラ番号
カメラ SD 画像削除失敗	: CAM xx DEL IMG ERR xxはカメラ番号
ビデオロス障害検出	: CAM xx VIDEO LOSS xxはカメラ番号
ビデオロス障害復旧	: CAM xx VIDEO RECOVERED xxはカメラ番号
シングルフォーマット失敗	: 本体: MAIN-y SINGLE FORMAT ERROR 増設: EXTx-y SINGLE FORMAT ERROR xはユニット番号、yはディスク番号
RAID5 フォーマット失敗	: 本体: MAIN RAID5 FORMAT ERROR 増設: EXTx RAID5 FORMAT ERROR xはユニット番号

表示	説明
RAID6 フォーマット失敗	: 本体: MAIN RAID6 FORMAT ERROR 増設: EXTx RAID6 FORMAT ERROR x はユニット番号
HDD 取り出し警告	: 本体: MAIN-y SWAP WARNING 増設: EXTx-y SWAP WARNING x はユニット番号、y はディスク番号
改ざん検出	: ALTERED **CH ** はカメラ ch

*1 HDD 残容量警告について

残容量が設定メニューの [メンテナンス] - [ディスク] - [残容量警告] で設定した値に達したら、< FULL 以外 >の内容で障害メールを送信します。以降、残容量が 1%減少するたびに、< FULL 以外 >の内容で障害メールを送信し、残容量がなくなると、< FULL 時 >の内容で障害メールを 1 回送信します。

*2 RAID5 モードまたは、RAID6 モードで運用している場合は送信されません。

障害履歴について

障害履歴

ここでは、障害発生の履歴（障害ログ）とネットワークの障害履歴（ネットワークログ）の内容について説明します。

障害の内容	障害ログ	ネットワークログ	液晶表示	後面端子出力名
停電検出	POWER LOSS	—	ERR テイデソケツツ	停電処理完了出力
停電復旧	POWER RECOVERED	—	—	—
改ざん検出	ALTERED **CH	—	—	—
独自通知先応答なし	PANASONIC_ALM_RE S_ERR	—	—	ネットワーク異常出力
DNS から独自通知先解決 できず	PANASONIC_ALM_AD D_ERR	—	—	ネットワーク異常出力
独自通知先その他エラー	PANASONIC_ALM_OT HER_ERR	—	—	ネットワーク異常出力
パラメーター初期化エ ラー	—	—	本体： MAIN ERR ヨ勃 イー 増設： EXTu ERR ヨ勃 イー	—
FAN 警告	本体： MAIN FANf ERROR 増設： EXTu FANf ERROR	—	本体： MAIN-f ERR ファン ケイコ 増設： EXTu-f ERR ファン ケイコ	異常出力
温度異常警告	本体： MAIN THERMAL ERROR 増設： EXTu THERMAL ERROR	—	本体： MAIN ERR タイアトド ケイコ 増設： EXTu ERR タイアトド ケイコ	異常出力
システムエラーによる再 起動	SYSTEM REBOOT	—	—	—
HDD 取り出しエラー ^{*1}	本体： MAIN-d SWAP WARNING 増設： EXTu-d SWAP WARNING	—	本体： MAIN-d ERR HDD トダシ イー 増設： EXTu-d ERR HDD トダシ イー	HDD 異常出力
HDD ライトエラー	本体： MAIN-d WRITE ERR 増設： EXTu-d WRITE ERR	—	—	—
HDD リードエラー	本体： MAIN-d READ ERROR 増設： EXTu-d READ ERROR	—	—	—
シングルフォーマット失 敗	本体： MAIN-d SINGLE FORMAT ERROR 増設： EXTu-d SINGLE FORMAT ERROR	—	本体： MAIN-d ERR HDD フォーマット シッパイ 増設： EXTu-d ERR HDD フォーマット シッパイ	HDD 異常出力

障害の内容	障害ログ	ネットワークログ	液晶表示	後面端子出力名
RAID5 フォーマット失敗	本体： MAIN RAID5 FORMAT ERROR 増設： EXTu RAID5 FORMAT ERROR	-	本体： MAIN ERR HDD フォーマット シェパイ 増設： EXTu ERR HDD フォーマット シェパイ	HDD 異常出力
RAID6 フォーマット失敗	本体： MAIN RAID6 FORMAT ERROR 増設： EXTu RAID6 FORMAT ERROR	-	本体： MAIN ERR HDD フォーマット シェパイ 増設： EXTu ERR HDD フォーマット シェパイ	HDD 異常出力
RAID5 1 ダウン	本体： MAIN RAID5 1 DOWN 増設： EXTu RAID5 1 DOWN	-	本体： MAIN ERR RAID5 1 ダウン 増設： EXTu ERR RAID5 1 ダウン	HDD 異常出力
RAID5 2 ダウン	本体： MAIN RAID5 2 DOWN 増設： EXTu RAID5 2 DOWN	-	本体： MAIN ERR RAID5 2 ダウン 増設： EXTu ERR RAID5 2 ダウン	HDD 異常出力
RAID6 1 ダウン	本体： MAIN RAID6 1 DOWN 増設： EXTu RAID6 1 DOWN	-	本体： MAIN ERR RAID6 1 ダウン 増設： EXTu ERR RAID6 1 ダウン	HDD 異常出力
RAID6 2 ダウン	本体： MAIN RAID6 2 DOWN 増設： EXTu RAID6 2 DOWN	-	本体： MAIN ERR RAID6 2 ダウン 増設： EXTu ERR RAID6 2 ダウン	HDD 異常出力
RAID6 3 ダウン	本体： MAIN RAID6 3 DOWN 増設： EXTu RAID6 3 DOWN	-	本体： MAIN ERR RAID6 3 ダウン 増設： EXTu ERR RAID6 3 ダウン	HDD 異常出力
HDD スマート警告 ^{*2}	本体： MAIN-d SMART WARNING 増設： EXTu-d SMART WARNING	-	本体： MAIN-d ERR SMART ケイコ 増設： EXTu-d ERR SMART ケイコ	HDD 異常出力
HDD アワーメーター警告	本体： MAIN-d HOUR METER WARNING 増設： EXTu-d HOUR METER WARNING	-	本体： MAIN-d ERR HDD アワーメーター ケイコ 増設： EXTu-d ERR HDD アワーメーター ケイコ	HDD 異常出力
HDD SKIP 警告 ^{*3}	本体： MAIN-d HDD SKIP 増設： EXTu-d HDD SKIP	-	-	-

障害履歴について

障害の内容	障害ログ	ネットワークログ	液晶表示	後面端子出力名
HDD 自動リンク外し (HDD 単位)	本体： MAIN-d LOGICALLY REMOVED 増設： EXTu-d LOGICALLY REMOVED	—	本体： MAIN-d ERR HDD REMOVE Iラ- 増設： EXTu-d ERR HDD REMOVE Iラ-	HDD 異常出力
HDD 自動リンク外し (ユニット単位)	本体： MAIN LOGICALLY REMOVED 増設： EXTu LOGICALLY REMOVED	—	本体： MAIN ERR HDD REMOVE Iラ- 増設： EXTu ERR HDD REMOVE Iラ-	HDD 異常出力
HDD リンクエラー	—	—	本体： MAIN-d リンク シツパイ 増設： EXTu-d リンク シツパイ	—
パーティションエラー (HDD 単位)	本体： MAIN-d PARTITION ERROR 増設： EXTu-d PARTITION ERROR	—	本体： MAIN-d ERR パ-ティション Iラ- 増設： EXTu-d ERR パ-ティション Iラ-	—
パーティションエラー (ユニット単位)	本体： MAIN PARTITION ERROR 増設： EXTu PARTITION ERROR	—	本体： MAIN ERR パ-ティション Iラ- 増設： EXTu ERR パ-ティション Iラ-	—
HDD RAID5 復旧失敗	本体： MAIN RAID5 RECOVERY FAILURE 増設： EXTu RAID5 RECOVERY FAILURE	—	本体： MAIN ERR RAID5 フキユウシツパイ 増設： EXTu ERR RAID5 フキユウシツパイ	HDD 異常出力
HDD RAID6 復旧失敗	本体： MAIN RAID6 RECOVERY FAILURE 増設： EXTu RAID6 RECOVERY FAILURE	—	本体： MAIN ERR RAID6 フキユウシツパイ 増設： EXTu ERR RAID6 フキユウシツパイ	HDD 異常出力
通常領域残容量警告	NORMAL-HDD CAPACITY REMAINS **%	—	AREA ERR ヲジ ョウ HDD **%	残量警告出力
EVENT 領域残容量警告	EVENT-HDD CAPACITY REMAINS **%	—	AREA ERR イ`ホ HDD **%	残量警告出力
EVENT 領域残容量警告 (FULL)	EVENT-HDD FULL	—	AREA ERR イ`ホ HDD FULL	残量警告出力
COPY 領域残容量警告	COPY-HDD CAPACITY REMAINS **%	—	AREA ERR 北° - HDD **%	残量警告出力
COPY 領域残容量警告 (FULL)	COPY-HDD FULL	—	AREA ERR 北° - HDD FULL	残量警告出力
コピーエラー	NO DATA COPY	—	—	—

障害の内容	障害ログ	ネットワークログ	液晶表示	後面端子出力名
NW リンク外れエラー	—	NETWORK LINK ERROR	NW ERR NW リンク 外れ	ネットワーク異常出力
NW カメラ障害検出	CAM cc COMMUNICATION ERROR	—	NW ERR カメラ cc 障害	カメラ異常出力
NW カメラ障害検出 (音声)	CAM cc COMMUNICATION ERROR(AUDIO)	—	NW ERR カメラ cc 障害	カメラ異常出力
NW カメラ障害復旧	CAM cc COMMUNICATION RECOVERED	—	—	—
NW カメラ障害復旧 (音声)	CAM cc COMMUNICATION RECOVERED(AUDIO)	—	—	—
ビデオロス障害検出 ^{*4}	CAM cc VIDEO LOSS	—	NW ERR カメラ cc 障害	カメラ異常出力
ビデオロス障害復旧 ^{*4}	CAM cc VIDEO RECOVERED	—	—	—
電子メール送信	—	<SMTP>MAIL_SEND	—	—
電子メール認証エラー	—	<SMTP>SMTP_ATTENTION_ERR	—	ネットワーク異常出力
DNS から POP3 サーバアドレス解決できず	—	<SMTP>POP3_ADD_ERR	—	ネットワーク異常出力
POP3 サーバ見つからず	—	<SMTP>POP3_SERVER_ERR	—	ネットワーク異常出力
POP3 認証エラー	—	<SMTP>POP3_ATTENTION_ERR	—	ネットワーク異常出力
DNS から SMTP サーバアドレス解決できず	—	<SMTP>SMTP_ADD_ERR	—	ネットワーク異常出力
SMTP サーバ見つからず	—	<SMTP>SMTP_SERVER_ERR	—	ネットワーク異常出力
MAIL FROM コマンドエラー	—	<SMTP>MAIL_FROM_ERR	—	ネットワーク異常出力
RCPT TO コマンドエラー	—	<SMTP>RCPT_TO_ERROR	—	ネットワーク異常出力
SMTP サーバその他のエラー	—	<SMTP>OTHER_ERR	—	ネットワーク異常出力
FTP クライアント送信成功	—	<FTP>CLIENT_OK	—	—
FTP サーバ転送成功	—	<FTP>SERVER_FWD_OK	—	—
DNS から FTP サーバアドレス解決できず	—	<FTP>SERVER_ADD_ERROR	—	ネットワーク異常出力
FTP サーバ見つからず	—	<FTP>SERVER_ERR	—	ネットワーク異常出力
FTP アップロード転送エラー	—	<FTP>UPLOAD_ERR	—	ネットワーク異常出力
FTP Passive モードでのエラー	—	<FTP>PASSIVE_ERR	—	ネットワーク異常出力
FTP ログイン失敗	—	<FTP>LOGIN_FAULT	—	ネットワーク異常出力
FTP ログアウト失敗	—	<FTP>LOGOUT_FAULT	—	ネットワーク異常出力
FTP その他エラー	—	<FTP>OTHER_ERR	—	ネットワーク異常出力

障害履歴について

障害の内容	障害ログ	ネットワークログ	液晶表示	後面端子出力名
DDNS IP アドレスアップ デート	—	<DDNS>IP_ADD_UP DATE_OK	—	—
DDNS サーバー見つから ず	—	<DDNS>SVR_ERR	—	ネットワーク異常出力
DDNS ユーザー名パス ワードエラー	—	<DDNS>USER_PAS S_ERR	—	ネットワーク異常出力
DDNS IP アドレスアップ デート失敗	—	<DDNS>IP_ADD_UP DATE_ERR	—	ネットワーク異常出力
DDNS その他エラー	—	<DDNS>OTHER_ER R	—	ネットワーク異常出力
NTP サーバーの時刻への 同期成功	—	<NTP>GET_TIME_OK	—	—
DNS から NTP サーバー アドレス解決できず	—	<NTP>SVR_ADD_ER R	—	ネットワーク異常出力
時刻設定失敗	—	<NTP>SET_TIME_ER R	—	ネットワーク異常出力
NTP サーバー見つからず	—	<NTP>SVR_ERR	—	ネットワーク異常出力
NTP サーバーの時刻無効	—	<NTP>TIME_INVALI D	—	ネットワーク異常出力
NTP その他のエラー	—	<NTP>OTHER_ERR	—	ネットワーク異常出力
SNMP 送信成功	—	<SNMP>SEND_OK	—	—
SNMP ユーザー名パス ワードエラー	—	<SNMP>USER_PAS S_ERR	—	ネットワーク異常出力
SNMP オブジェクト取得 失敗	—	<SNMP>OBJ_ERR	—	ネットワーク異常出力
SNMP その他のエラー	—	<SNMP>OTHER_ER R	—	ネットワーク異常出力
DHCP IP アドレス取得	—	<DHCP>IP_ADD_OK	—	—
DHCP IP アドレスロス ト	—	<DHCP>IP_ADD_LO ST	—	ネットワーク異常出力
DHCP IP アドレスアップ デート失敗 xx%	—	<DHCP>IP_ADD_UP DATE_ERR	—	ネットワーク異常出力
DHCP IP アドレス登録 失敗	—	<DHCP>IP_ADD_EN T_ERR	—	ネットワーク異常出力
DHCP その他のエラー	—	<DHCP>OTHER_ERR	—	ネットワーク異常出力
HTTP ユーザー名パス ワードエラー	—	<HTTP>USER_PASS _ERR	—	ネットワーク異常出力
HTTP ダウンロード失敗	—	<HTTP>DOWNLOAD _ERR	—	ネットワーク異常出力
HTTP 要求無効	—	<HTTP>REQUEST_E RR	—	ネットワーク異常出力
HTTP その他のエラー	—	<HTTP>OTHER_ERR	—	ネットワーク異常出力
ブラウザコンフィグ遷 移	—	—	エ/イグチョ	—
SD メモリーカードエ ラー	CAM cc SD ERR	—	NW ERR か/う cc SD イ-	カメラ異常出力
「SD メモリー書き込み開 始要求」失敗	CAM cc SD START ERR	—	NW ERR か/う cc SD イ-	カメラ異常出力
「SD メモリー書き込み終 了要求」失敗	CAM cc SD END ERR	—	NW ERR か/う cc SD イ-	カメラ異常出力

障害の内容	障害ログ	ネットワークログ	液晶表示	後面端子出力名
「SD メモリーデータ画像リスト取得要求」失敗	CAM cc GET LIST ERR	—	NW ERR かゝ cc SD Iゝ-	カメラ異常出力
カメラ SD 画像要求失敗	CAM cc GET IMG ERR	—	NW ERR かゝ cc SD Iゝ-	カメラ異常出力
カメラ SD 画像削除要求失敗	CAM cc DEL IMG ERR	—	NW ERR かゝ cc SD Iゝ-	カメラ異常出力

*1 HDD 取り出しエラーとは、運用中に [USE] ボタンを押さずに HDD を取り出した場合に発生するエラーです。

*2 RAID5 モードまたは、RAID6 モードで運用している場合は、障害ログのみ表示され、液晶表示、後面端子へは出力されません。

*3 HDD SKIP とは、HDD 書き込みなどのエラーが発生したときに次の HDD に移動し録画を継続する機能です。

*4 ビデオロスとは、DG-NT304 / DG-NT314 と接続されているカメラ間の障害です。本機が DG-NT304 のビデオロス障害を受信するためには、DG-NT304 / DG-NT314 のアラーム独自通知設定と本機のサイトアラーム有効設定が必要です。

表中の記号の意味については 58 ページ をお読みください。

エラー動作について

エラー動作

本機の主なエラー動作および対処方法です。記載以外のエラーについては販売店に相談してください。

障害ログ表示	液晶表示	エラーの内容・現象	対処方法
MAIN-d WRITE ERR (EXTu-d WRITE ERR)		HDD へのデータ書き込みに失敗、または読み込みに失敗しました。HDD が故障している可能性があります。	頻繁に発生するときは販売店にご連絡いただき、HDD を交換してください。 ^{*1}
MAIN-d READ ERR (EXTu-d READ ERR)			
MAIN-d HDD SKIP (EXTu-d HDD SKIP)			
MAIN RAID5 1DOWN (EXTu RAID5 1DOWN)	MAIN ERR RAID5 1 ダウン (EXTu ERR RAID5 1 ダウン)	RAID モード運用中の HDD が故障しています。	販売店に連絡してください。故障した HDD を交換、または復旧後、エラー状態は解除されます。
MAIN RAID5 2DOWN (EXTu RAID5 2DOWN)	MAIN ERR RAID5 2 ダウン (EXTu ERR RAID5 2 ダウン)		
MAIN RAID6 1DOWN (EXTu RAID6 1DOWN)	MAIN ERR RAID6 1 ダウン (EXTu ERR RAID6 1 ダウン)		
MAIN RAID6 2DOWN (EXTu RAID6 2DOWN)	MAIN ERR RAID6 2 ダウン (EXTu ERR RAID6 2 ダウン)		
MAIN RAID6 3DOWN (EXTu RAID6 3DOWN)	MAIN ERR RAID6 3 ダウン (EXTu ERR RAID6 3 ダウン)		
MAIN-d SMART WARNING (EXTu-d SMART WARNING)	MAIN-d ERR SMART ケイコク (EXTu-d ERR SMART ケイコク)		
MAIN-d HOUR METER WARNING (EXTu-d HOUR METER WARNING)	MAIN-d ERR HDD アワーメーター ケイコク (EXTu-d ERR HDD アワーメーター ケイコク)	アワーメーターで設定した時間が経過しました。HDD の寿命が近づいている可能性があります。	販売店にご連絡いただき、HDD を交換してください。 ^{*1}
NORMAL-HDD CAPACITY REMAINS **%	AREA ERR ツウジョウ HDD **%	終端設定が [Stop] の場合、HDD の残容量が少ない、または、残容量がありません。	HDD を初期化するか、交換してください。 ^{*1}
EVENT-HDD CAPACITY REMAINS **%	AREA ERR イベント HDD **%		
EVENT-HDD FULL	AREA ERR イベント HDD FULL		
COPY-HDD CAPACITY REMAINS **%	AREA ERR コピー HDD **%		
COPY-HDD FULL	AREA ERR コピー HDD FULL		
CAM cc COMMUNICATION ERR	NW ERR カメラ cc エラー	ネットワークカメラとの通信が不安定または、ネットワークカメラが接続されていません。	ネットワークカメラとの通信状況を確認してください。
CAM cc COMMUNICATION ERROR (AUDIO)			

障害ログ表示	液晶表示	エラーの内容・現象	対処方法
NETWORK LINK ERROR	NW ERR NW リンクエラー	ネットワークが切断されています。	ネットワーク接続を確認してください。
CAM cc SD ERR	NW ERR カメラ cc SD エラー	カメラの SD メモリーカードの異常です。 SD メモリーカードが検出できていないか、SD メモリーカードの残容量がありません。	カメラ側の設定や SD メモリーカードを確認してください。
CAM cc SD START ERR	NW ERR カメラ cc SD エラー	カメラ SD メモリーカードの異常です。 ネットワークカメラとの通信が不安定またはネットワークカメラが接続されていません。	カメラ側の設定や SD メモリーカードを確認してください。 ネットワークカメラとの接続状態を確認してください。
CAM cc SD END ERR			
CAM cc GET LIST ERR			
CAM cc GET IMG ERR			
CAM cc DEL IMG ERR			

*1 HDD の交換は販売店に連絡してください。

() 内は増設ユニット (WJ-HDE400) でエラーが発生した場合に表示されるメッセージです。

表中の記号の意味

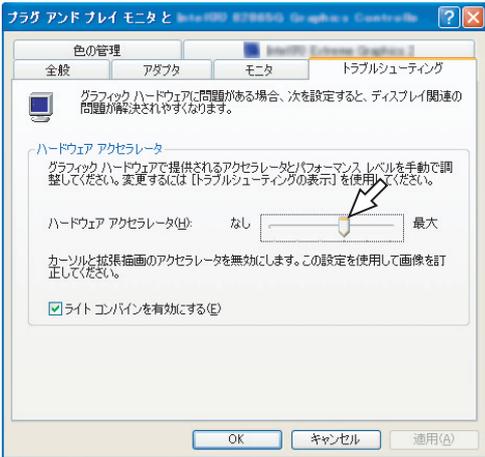
記号	意味	詳細
u	ユニット番号	1 ~ 5 : 増設ユニット番号
f	FAN 番号	1 ~ 5 : ファン番号 (FAN1 ~ FAN5)
d	ディスク番号	1 ~ 9 : ディスク番号 (HDD1 ~ HDD9)
cc	カメラ番号	01 ~ 64 : カメラ番号

故障かな!?

こんなときは

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のとき、または設定・工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店に相談してください。

症 状	原因・対策	参照ページ
ブラウザからアクセスできない	ネットワークポートに 10BASE-T または 100BASE-TX、1000BASE-T ケーブルが接続されているか、確認してください。	—
	ネットワークポート接続表示ランプが点灯していない場合は、LAN に接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。	—
	有効なIPアドレスが設定されていることをシステムの管理者にご確認ください。	取扱説明書 設定編 (PDF ファイル)
	正しいIPアドレスにアクセスしていることを次の方法で接続を確認してください。 > ping “本機の IP アドレス” を実行し、本機から Reply が返ってくれば、正常に動作しています。Reply が返ってこない場合は、IP アドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。	—
	設定したIPアドレスが他の機器と重複しないことをシステムの管理者にご確認ください。	取扱説明書 設定編 (PDF ファイル)
	設定したIPアドレスと設置先のネットワーク/サブネットマスクが矛盾していないことを確認してください。	取扱説明書 設定編 (PDF ファイル)
	同一サブネット内に本機とクライアント (PC) が接続されている場合、本機とクライアント (PC) の IP アドレスは共通のサブネットに設定してください。	取扱説明書 設定編 (PDF ファイル)
	ブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」に設定することをおすすめします。	取扱説明書 設定編 (PDF ファイル)
ブラウザ画面に表示されるボタンがずれて表示される	Windows のフォント設定を初期設定から変更している場合、ブラウザの表示が異常になることがあります。フォント設定は初期設定のままご使用ください。	—
ブラウザ画面に表示されていない内容がある	キーボードの [F5] キーを押して、再表示をしてください。	—
画像が更新されない	ネットワークの混み具合などにより、画像の表示が止まる場合があります。キーボードの [F5] キーを押して、画像を再度取得してください。	—
	低い録画レート (1 ips 未満) で記録された画像データは更新されない場合があります。	—
正常な画像でライブ画表示・録画がされない (MPEG-4 画像)	カメラ動作中に本機を起動した場合や、カメラポート側の LAN ケーブルを接続した場合、直後の最大 1 分間は正常に画像表示、録画ができないことがあります。	—

症 状	原因・対策	参照ページ
イベントリストに SD メモリーデータが表示されない	SD メモリーデータは通常の録画イベントリストや日時検索から再生できません。録画イベント検索から [SD メモリー] で絞り込んだあと、イベントリストを選択して再生してください。	-
	SD メモリーデータの録画時刻は、SD メモリーカードに録画した時点のカメラ側の時刻になります。カメラ側の時刻を確認してください。	-
SD メモリーデータが再生できない	録画されている画像枚数が少ない場合、正常に再生されないことがあります。その場合は、コマ送り/逆コマ送りで画像を表示してください。	-
MPEG-4 画像を多画面表示したときに、1 つの画像表示エリアに複数のカメラ画像が切り換わり表示される	<p>PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。ここでは、Windows XP を例に説明します。 <ol style="list-style-type: none"> すべてのブラウザを閉じてからデスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから [プロパティ] を選択します。 画面のプロパティ画面で [設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。 [トラブルシューティング] タブをクリックし、[ハードウェアアクセラレータ] のパフォーマンスレベルを調節し、DirectDrawのアクセラレータを無効にしてください。 	-
基本操作画面を表示したときに表示された認証画面を終了できない	ユーザー名、パスワードを確認してください。	取扱説明書 設定編 (PDF ファイル)
ダウンロードした画像が再生できない	再生画像のダウンロード中に設定が変更されると、ダウンロードを終了します。このとき、ダウンロードしていた画像は再生できません。	-
画面に [しばらくお待ちください] が表示されたままになる	ActiveX コントロールがインストールされていません。ActiveX コントロールをインストールしてください。	64 ページ

故障かな!?

症 状	原因・対策	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> • 音声録音されない • 音声再生されない 	ネットワークカメラの音声の配信が有効になっていますか？	取扱説明書 設定編 (PDF ファイル)
	ネットワークカメラの音声のビットレートが「32 Kbps」に設定されていますか？ カメラの設定を確認してください。	取扱説明書 設定編 (PDF ファイル)
	録画・録音中に最新の映像を再生すると、音声再生されない場合があります。 その場合は、再生を停止して、再度再生を行ってください。	—
ビューワーソフトで音声再生できない	画像データ (ファイル名 .n3r) と音声データ (ファイル名 .n3a) を同じフォルダーに入れてありますか？ データの保存先を確認してください。	42 ページ
ライブ画像が表示されない	設定メニューで [NW カメラ] の設定を確認してください。	取扱説明書 設定編 (PDF ファイル)
	設定メニューでライブ配信の設定を確認してください。	取扱説明書 設定編 (PDF ファイル)
	本機とネットワークカメラの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを確認してください	取扱説明書 設定編 (PDF ファイル)
	カメラの圧縮方法を M-JPEG に設定しているときに、本機の設定メニューの保存操作またはプログラム設定の測定操作を繰り返すと、数分間ライブ画像が黒画になり、録画されないことがあります。その場合は、約 10 分間お待ちください。	—
	インターネット経由で MPEG-4 画像を表示される場合、カメラ画像が表示されないことがあります。ルーター設定などのネットワーク機器の影響を受けるため、ネットワーク管理者にお問い合わせください。	—
再生画像が停止する。しばらくすると再生が再開する	NTP 自動時刻合わせなどにより、時刻設定が変更されて、1 つのレコード内で時刻が連続していない場合、再生画像が停止する場合があります。 その場合は再生が再開するまで、しばらくお待ちください。	—
ライブ画像・再生画像が表示されない	Windows の制限つきアカウントのユーザーでログインしている場合、ActiveX コントロールが正常にインストールされないため、画像が表示されません。PC の管理者権限アカウントのユーザーでログインしてください。	—
	ドメイン (Active Directory) 認証によるネットワークにログインしている場合、ActiveX コントロールがインストールできない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 信頼済みサイトに登録し、セキュリティの設定を追加してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Internet Explorer を起動し [ツール (T)] をクリックします。 2. [インターネットオプション (O)] をクリックします。 3. [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] を選択します。 4. [このゾーンのセキュリティレベル (L)] を [低] に設定してください (セキュリティレベルを下げることによって、お使いの PC のセキュリティレベルが下がります)。 5. [サイト (S)] をクリックします。レコーダーの URL を [追加 (A)] します。このとき、[このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする (S)] のチェックがはずれていることを確認してください。 	—

症 状	原因・対策	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> • ライブ画像の更新が不安定 • ブラウザーの接続が切断される • ネットワークのパフォーマンスが出ない • ダウンロードした画像が正しく表示されない • 画像が正しく表示・録画・再生されない 	<p>圧縮方式の異なるカメラを混在させた場合、性能が低下（画像の更新が不安定）することがあります。</p>	—
	<p>ネットワーク回線および本機のネットワーク性能限界以上の設定がされている可能性があります。 ライブ配信レート・録画レートの値を小さくするなど、ネットワーク性能に関する設定値を小さくしてください。</p>	<p>取扱説明書 設定編（PDF ファイル）</p>
	<p>本機と HUB のネットワーク通信速度が一致していない可能性があります（100BASE-Tx Full と 100BASE-Tx Half など）。HUB によってはネットワーク通信速度が一致しなくなることがあります。 HUB の通信速度状態および本機のネットワーク通信の速度が一致するように設定してください。</p>	—
カメラが操作できない	<p>設定メニューの [NW カメラ] で設定しているカメラの品番が正しいことを確認してください。</p>	<p>取扱説明書 設定編（PDF ファイル）</p>
	<p>設定メニューの [NW カメラ] にユーザー名、パスワードが入力してあることを確認してください。</p>	<p>取扱説明書 設定編（PDF ファイル）</p>

故障かな!?

メッセージ表示

OS 環境によっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下を及ぼすことはありません。現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorer のアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



現象	対応方法
下記メッセージの情報バーが表示される。 「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」	情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可 (A) ...」を選択します。「このサイトのポップアップを許可しますか？」画面が表示されますので、「はい (Y)」ボタンをクリックしてください。
下記メッセージの情報バーが表示される。 「このサイトには、次の ActiveX コントロールが必要な可能性があります: 'Panasonic Corporation' からの 'wvasetup.exe' インストールするには、ここをクリックしてください...」	情報バーをクリックし、「ActiveX コントロールのインストール (C) ...」を選択します。セキュリティの警告画面が表示されますので、「インストールする (I)」ボタンをクリックしてください。
下記メッセージの情報バーが表示される。 「セキュリティ保護のため、このサイトによる、このコンピュータへのファイルのダウンロードが Internet Explorer によりブロックされました。オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」	情報バーをクリックし、「ファイルのダウンロード (D) ...」を選択します。 上記の操作をしてもダウンロードできない場合には、以下の操作に従ってください。 Internet Explorer のセキュリティの設定画面を開き、「ダウンロード」 - 「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」で「有効にする」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、「はい (Y)」ボタンをクリックしてください。
ダウンロードしたファイルを実行しようとする時、下記メッセージのセキュリティの警告画面が表示される。「発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか？」	「実行 (R)」ボタンをクリックしてください。
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	Internet Explorer のセキュリティの設定画面を開き、「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、「はい (Y)」ボタンをクリックしてください。

用語・記号について

本書では、以下の用語および記号を用いて説明しています。

DDNS

DNS サーバー情報を自動的に書き換え、情報の差分だけを DNS サーバー間で転送できるようにした技術です。これにより DNS サーバーの情報更新に必要なデータ転送量を減らせ、ネットワークの負荷を少なくできます。

DHCP

PC がネットワークに接続する際に必要な情報をサーバーから自動的に取得するためのプロトコルです。

DHCP サーバー

ネットワークに関連した情報（（デフォルト）ゲートウェイサーバーやクライアントに割り当てられる IP アドレスの範囲など）を保持しており、クライアントから要求がくるとそれらの情報を割り振ります。

DNS

ネットワーク環境上で使用される IP アドレスは、覚えにくく実用的ではありません。そのため、PC にわかりやすい名前（ドメイン名）を付け、それを IP アドレスに変換して通信を行います。このドメイン名と IP アドレスを対応させるしくみです。

FTP

ネットワークでファイルを転送するときに使われる代表的なプロトコルです。

HDD

ハードディスクドライブ（大容量記憶装置の 1 つ）のことで、本機はハードディスクにカメラの画像を録画します。

HTML

HTML は文書の論理構造や見栄えなどを記述するために使用されるマークアップ言語です。文書の中に画像や音声、動画、他の文書へのリンクなどもできるようになります。HTML で記述された文書を開覧するにはウェブブラウザを使用します。

IP アドレス

インターネットやイントラネットなどの IP ネットワークに接続された PC や通信機器 1 台 1 台に割り振られた識別番号のことです。特にインターネット上ではこの数値に重複がないように割り振っておいてください。

IP マスカレード

1 つのグローバルアドレスを複数の PC で共有する技術です。NAT と異なり TCP/UDP のポート番号まで動的に変換されるため、1 つのグローバルアドレスで複数のマシンから同時に接続できます。

LAN

同じ建物の中やフロア内、キャンパスなど比較的狭い地域にある PC やプリンターなどを接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

M-JPEG

カメラから連続的に JPEG 画像を送信してくる動画方式です。カメラ側から画像を 1 枚 1 枚取得する方式に比べ、ネットワークの負担は下がりますが、カメラ側の状態により配信レートは変動します。カメラによっては JPEG と表現される場合があります。

MAC アドレス

ネットワーク機器に割り付けられる固有の物理アドレスです。これを元に機器間のデータの送受信が行われます。

NAT (Network Address Translation)

1 つのグローバルアドレスを複数の PC で共有する技術です。

NTP (Network Time Protocol)

ネットワークに接続された機器の内部時計を正しく調整するプロトコルです。

POP 3

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するためのプロトコルです。

POP 3 サーバー

現在最も普及しているメール受信プロトコルである POP3 に対応しているサーバーです。

PoE (Power over Ethernet)

イーサネットケーブルを利用して、データと電力を同時に供給する技術です。2003 年 6 月に「IEEE 802.3af」として標準化されました。

PoE 給電ハブ

PoE機能を持ったスイッチングハブです。最大48V 15.4Wの電力をカメラなどに給電できます。

RAID (RAID5)

Redundant Arrays of Inexpensive Disks 5 の略称で、HDD を複数台用いてアクセスを分散させ、高速、大容量で信頼性の高いディスク装置を実現するための技術を指します。1 台の HDD に障害が発生しても、他の HDD に記録されているエラー訂正データを元に障害が発生した HDD のデータを復元できます（RAID5 は、3 台以上の HDD が接続されているときに使用できます。また、同時に 2 台以上の HDD に障害が発生したときは、障害が発生した HDD のデータの復元はできません）。

RAID (RAID6)

Redundant Arrays of Inexpensive Disks 6 の略称で、HDD を複数台用いてアクセスを分散させ、高速、大容量で信頼性の高いディスク装置を実現するための技術を指します。2 台の HDD に障害が発生しても、他の HDD に記録されているエラー訂正データを元に障害が発生した HDD のデータを復元できます（RAID6 は、4 台以上の HDD が接続されているときに使用できます。また、同時に 3 台以上の HDD に障害が発生したときは、障害が発生した HDD のデータの復元はできません）。

SD メモリーバックアップ、SD メモリーデータ

SD メモリーバックアップとは、本機に設定されているタイムテーブル録画の時間内にカメラとの通信ができなくなった場合、カメラに搭載されている SD メモリーカードに画像を保存しておけるカメラ側の機能です。SD メモリーデータとはその録画画像のことを言います。

SMTP

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールのやり取りをしたり、クライアントがサーバーにメールを送信するときに使われます。

SMTP サーバー

最も普及しているメール送信プロトコルである SMTP に対応しているサーバーです。

SMTP 認証

メール送信に使うプロトコルである SMTP にユーザー認証機能を追加した仕様です。SMTP サーバーとクライアントとの間でユーザーアカウントとパスワードの認証を行います。このため、SMTP サーバーとクライアントの双方が SMTP 認証対応していなければなりません。

SNMP

ルーターや PC、カメラ、ネットワークディスクレコーダーなど、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

TCP/IP

インターネットやイントラネットで標準的に使われるプロトコルです。

URL

インターネット上にある文書や画像などの情報資源のある場所を指し示す記述方式で、インターネットにおける情報の「住所」にあたります。

VPN

公衆回線を専用回線のように利用できるサービスです。コストのかかる専用回線の代替になる新しい通信として企業を中心に浸透しています。認証技術や暗号化を用いて保護された回線を提供するサービスもあります。

WAN

電話回線や専用線を使って、本社―支社間など地理的に離れた地点にある PC 同士を接続し、データをやり取りします。

ActiveX コントロール

Microsoft 社が開発したソフトウェアの部品化技術。インターネットやイントラネットを通じてウェブサーバーからダウンロードされ、Internet Explorer に機能を追加する形で使用されます。本機では、動画を表示するために使用しています。

イベント

本機が特別な動作（イベント動作）を開始するきっかけとなる事象を表します。イベントには、端子アラーム、コマンドアラーム、サイトアラームがあります。

イベント録画

イベント発生時に自動で録画／録音を開始する機能です。イベント録画にはイベント発生前の画像を記録するプレ録画と、イベント発生後の画像を記録するポスト録画があります。

インターネット

全世界のネットワークを相互に接続した巨大な PC ネットワークです。インターネット上では機種の違いが通信ができません。

イーサネット

Xerox 社などによって開発された LAN 通信方式です。

ウェブブラウザ

Web ページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。インターネットから HTML ファイルや画像ファイル、音楽ファイルなどをダウンロードし、レイアウトを解析して表示・再生します。Microsoft 社の Internet Explorer などがあります。

動き自動検出 (VMD : Video Motion Detection)

画像内の物体の動きを自動的に検出するカメラの機能です。本機は、カメラから送信される VMD 情報を録画し、録画画像から動きが検出された日時のみを検索する VMD サーチ機能*があります。

* VMD サーチ機能対応カメラについては、「readme.txt」をお読みください。

解像度

本機がカメラ画像を録画する際の画像や画質の滑らかさの基準を表します。本機では、画面上に表示されるドット数で表し、水平 720 ドット、垂直 480 ドットの場合、720-480 と表記します。

カメラ操作

本機に接続したコンビネーションカメラのパン・チルト（水平・垂直位置）、ズーム（画像の拡大・縮小）、フォーカス（焦点）、明るさ（レンズの絞り）、プリセット動作（指定水平・垂直位置への移動）、オート機能（カメラの自動回転など）の操作のことです。

外部録画モード

本機に接続した外部スイッチを使用して、録画設定・イベント動作設定などが設定されているタイムテーブルを切り換える機能です。

緊急録画

本機に接続した外部スイッチを使用して、緊急事態が発生したときなどに優先的に録画／録音をする機能です。

グローバルアドレス

インターネットに接続された機器に 1 つ 1 つ割り振られた IP アドレスです。インターネット上の住所に相当するもので、インターネット通信の際には必ず使用されます。これに対し、組織内のネットワークで自動的に割り振ることができるプライベート (IP) アドレスがあります。

ケーブルモデム

CATV の回線を使って、インターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと呼びます。シリアルポートを使う通常のモデムとは異なり、PC とはイーサネットを通じて接続します。

サブネット

大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワークです。大企業などではネットワーク管理や回線の分配を効率よく行うために、ネットワークをいくつかの小さな単位に分割して管理する場合があります。このような場合に、管理単位となる小さなネットワークをサブネットと言います。

サブネットマスク

サブネットマスクは、IP アドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための 32 ビットの数値です (IPv4 の場合)。

システムの管理者

本機の設置／運用に関する設定責任および権限を持った人のことです。

シーケンス

カメラの画像を決められた順番で自動的に切り換えて表示する機能です。本機は、ライブ画像を表示しているときにシーケンスができます。

スケジュール録画

あらかじめ設定した時間帯に自動で録画／録音を開始・終了する機能です。

セカンダリーサーバー

DNS サーバーは通常 2 系統以上用意することになっており、そのうちの副系統 (サブ) のサーバーです。主系統 (プライマリー) のサーバーにトラブルが発生したときなどに処理を肩代わりします。

全二重

双方向通信で、独立した送信回線と受信回線を用意し、送信と受信を同時に行えるようにした通信方式のことです。

多画面表示

本機は、ライブ画像表示・再生画像表示のときに、複数のカメラ ch の画像を同時に表示できます。

ディスクコンフィグ

HDD の交換・抜き取り・追加をした場合は、HDD の設定をしてください。ディスクコンフィグとは、HDD の設定をするメニューのことです。

デフォルトゲートウェイ

組織内の LAN などのネットワークから外部のネットワークの PC へアクセスするために使用する窓口となるネットワーク機器のことです。送信先の IP アドレスに特定のゲートウェイを指定していない場合には、デフォルトゲートウェイにデータが送信されます。

電子ズーム

ライブ画像・再生画像を拡大表示する機能です。カメラ操作のズーム機能はカメラが持つズーム機能で画像を拡大表示するのにに対し、電子ズーム機能は本機内で画像の拡大処理をして表示します。

半二重

双方向通信で、1 つの通信回線を使用して、送信と受信を切り換えながら通信する方式のことです。

ビットレート

単位時間あたりに何ビットのデータが処理または送受信されるかを表します。単位としては一般的に「ビット毎秒」(bps : bits per second) が使われます。映像データや音声データがどのくらいの圧縮をしているかを表したり、通信回線が 1 秒間にどのくらいのデータを送受信できるかを表したりするのに使います。

ファイアウォール

インターネットなどの外部のネットワークを利用する際のセキュリティの 1 つです。

ブロードバンドルーター

ADSL や光ファイバーなど高速な回線でインターネットに接続する際に使うルーターです。

プライベートアドレス

主に組織内の LAN など、ネットワークに接続されたときに割り振られた IP アドレスです。プライベート (IP) アドレスは申請を行わなくても組織内で自由に割り振ることができます。ただし、プライベート (IP) アドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバル (IP) アドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

プライマリーサーバー

DNS サーバーは通常 2 系統以上用意することになっており、そのうちの主系統 (メイン) のサーバーです。

プラグインソフトウェア

アプリケーションソフトウェアに機能を追加するための小さなプログラムです。

プロキシサーバー

組織内のネットワークとインターネットとの境界で、内部ネットワークの「代理 (プロキシ)」として、インターネットとの接続を行う PC やソフトウェアを意味します。内部ネットワークからの特定接続の許可や、外部ネットワークからの不正なアクセスの遮断を行います。

用語

プロトコル

さまざまな情報を種類の異なる複数のPCなどでデータを交換する際の通信規約（約束事）の集合です。インターネットでは「TCP/IP」というプロトコルが基盤になっており、そのうえでさらに「http」や「ftp」などの用途別のプロトコルに従って、情報の送受信が行われています。

ポート番号

インターネット上の通信（TCP、UDP など）で、複数の相手と同時に接続するために、IP アドレスの下に設けられたサブ（補助）アドレスです。

マニュアル録画

[録画] ボタン、[録画停止] ボタンをクリックして手動で録画／録音を開始・終了する機能です。

マルチキャスト

ネットワーク内で、複数の相手を指定して同じデータを送信することです。

ユニキャスト

ネットワーク内で、1 つの IP アドレスを指定して特定の相手にデータを送信することです。

ルーター

異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目を持っています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワークへ出れば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送り出しています。

録画レート (ips、I-Frame)

録画画像を再生したときの動きの滑らかさを決める単位です。ips は 1 秒間の記録コマ数を表します。数字が大きいほど滑らかな動きになりますが、録画可能時間は短くなります。I-Frame はカメラ側で設定されているリフレッシュ周期のことを表します。

索引

英数

1 画面表示	27
4 画面表示	31
ActiveX	9
DDNS	56
DHCP	56
DNS	52、55、56
FILTERING	14
FTP	4、47
FTP 定期送信	47
HDD	26
HDD SKIP	53
HDD 残容量警告	49
HDD タブ	15
IP アドレス	8
JPEG	45
MAC アドレス	48
MPEG-4	4
NTP	56
POP3	55
RAID5	53、54
RAID6	53、54
RECOVER	14
SD メモリーデータ取得	14
SD メモリーバックアップ	18
SEQ	31
SMTP	55
SNMP	56
URL	8

あ行

アクセス履歴	37
アラーム動作	34
アラームメール	49
アワーメーター	48
イベント	33
イベント発生履歴	38
ウェブブラウザ	8
動き自動検出	25
エラー動作	35、58

か行

改ざん検出	42、46
カメラ選択タブ	12
カメラ操作	29
カメラタブ	17
キーロック モード	36
基準 CH	22、24
緊急録画	14、34
現在日時表示	10
コピー	39
コントロールボタン	11
コンフィグ	56

さ行

サーチ	24、25
再生位置操作部	15

シーケンス	31
システム管理者	8
システム情報	48
手動消去	41
障害発生履歴	37
障害メール	49
障害履歴	52
障害ログ	37、52
情報バー	64
スケジュール録画	18
ステータス表示部	14
設定ボタン	13

た行

多画面表示	31
データ送信	47
ディスク情報	48
電子ズーム	21、28

な行

ネットワーク障害履歴	38
ネットワークログ	52
ネットワークログ登録件数	38

は行

パスワード	8
ビューワーソフトアンインストール	44
ビューワーソフトインストール	43
ビューワーソフトダウンロード	43
プリセット	30
プロトコル	33

ま行

マニュアル録画	18
マルチスクリーン	21、31
メール送信	47

や行

ユーザー管理	13
ユーザー名	8

ら行

リフレッシュ	4
領域選択	26
録画イベントサーチ	22、24
録画イベントリスト	23
録画モード優先度	18
録画レート	18、19
ログ表示	11
ロック	36

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パナハ ヨイワ

 **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくために、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日	品番	DG-ND400
	おぼえのため 記入されると 便利です	販売店名	電話（	）	—	

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

3TR005562EZB
A0109-1010